

## 公益財団法人 NIRA 総合研究開発機構

### 2018年度 研究事業計画書

2017年度は、米国トランプ政権の自国第一主義的な政策への傾倒が顕著となり、また、欧州では既成政党への不信から政治制度が大きく揺さぶられた。これまでグローバル化をけん引してきた欧米諸国で、民主政治と市場経済の間に軋轢が生じ、緊急的な対処を迫られているといえる。

こうした出来事は日本にとっても対岸の火事ではない。むしろ、差し当たり顕在化していないだけで、病根はより深い。グローバル化や第四次産業革命という各国共通の要因に加え、わが国は少子高齢化、人口減少や社会保障費増大に伴う巨額の財政赤字にも直面しており、課題先進国ともいえる状況にある

こうした現状認識のもと、NIRA総研はこれまでの研究をさらに深化させ、日本、世界の動向の変化をいち早く把握し、社会のニーズにこたえる研究を引き続き実施する。そして国民の合意に向けた、実効性ある政策提言を発出する。

#### 1. 研究調査事業

NIRA 総研の研究調査事業の長期方針は、自立 (independence) と自律 (autonomy) の2本柱を基本とし、民主主義と市場経済が潤滑に働くことを目指す。本事業の最大の目的は、特に民主主義と市場経済の弱点を最小限にし、長所を十分に伸ばすために現代日本のシステムをどう改善していくか、効果的な政策提言を行うことである。

具体的には、以下の研究調査事業を実施する。

##### ① 民主政治と市場経済

経済社会のデジタル化・グローバル化の進展は、既成政党の支持基盤であった中間層に多大な影響を与え、ひいては政治的疎外感を生んだ。民主政治と市場経済の緊張を緩和し、両者の機能を高める上で、政治による意思決定や市場ルールの再設計が求められている。

そこで、技術革新を前提とした民主政治のあり方、民主政治を基盤とする市場経済のあり方についての検討を行う。また、これまで取り組んできた中核層、信頼社会の概念について、歴史的な視座から再検討を行う。

## ② 科学技術

デジタル技術は、IT産業のみならず、社会の在り方を根底から変えつつある。グローバル競争の挑戦を受ける日本の戦略は何か、また、日本の固有の文化的な強みはどのような役割を果たしうるのか、についての再検討が求められている。

そこで、デジタル時代にふさわしい社会システムのあり方について、諸外国と比較しつつ検討を行う。また、金融分野におけるキャッシュレス経済など新たな動向についても検討を行う。

## ③ 日本経済と政策運営

少子高齢社会の下で財政規律を確保するためには、国民生活の質の向上と負担の抑制を実現する社会保障改革の実現、そしてIT技術を駆使した効率的かつ安定した経済運営が不可欠である。

そこで、社会保障改革について、その問題意識を喚起するとともに、デジタル技術を活用した政府の未来像を提示し、経済政策運営についてタイムリーな発信を行う。

## ④ 地域経済の自立

情報や科学技術の社会への実装は地域から始まる。それを円滑に実現させるには、知恵・技術・資金を結ぶ、連携を軸とした新たな展開を醸成する基盤に加え、地域における合理的な意思決定が不可欠となる。

そこで、多様な人々が集積し、地域が自律的に発展するための新しい仕組みについての検討を行う。

## ⑤ アジア経済

アジアにおける中国経済の影響力の増大は、従来のアジアの秩序を変えようとしている。アジアにおける安定的な秩序を構築し、健全な発展を実現するための方策は何か。日本にはその提示が求められている。

そこで、アジアにおける地域社会に着目し、地域における経済循環の形成、また、それが経済秩序に与える影響について検討を行う。

## ⑥ 政策連携

日米間で共同して政策連携を実施することが効果的な政策について、米国の大学等との連携の下、「日米の多元的な政策連携の構築」プロジェクトを実施し、グローバルな政策課題における日米連携の在り方について検討を行う。

## 2. 政策論議を深めるための情報発信

日本・世界が直面する広範な政策課題について、問題の核心を分かりやすく提示する。ネット等を通じてより効果的な情報発信に努めるとともに、海外向けの発信を強化する。

### ① オピニオンペーパー

NIRA総研が擁する有識者のネットワークを活用しつつ、的確かつタイムリーな政策提言を行い、世論を喚起する。

### ② わたしの構想

重要な課題について、複数の識者の見解を示すことで論点を多面的、具体的に分かりやすく提示する。

### ③ グローバル・マイ・ビジョン

各国に共通する重要課題について、内外を代表する複数の識者の見解を示すことで、論点を多面的かつ具体的に分かりやすく提示する。海外向けを中心に広く発信する。

### ④ SPACE NIRA

重要な課題を取り上げ、複数の外部有識者の異なる見解を、専門家たる第三者が中立の立場から評価し、海外向けを中心に広く発信する。

### ⑤ その他

政策レビューでは、各界で活躍する専門家との対談等を通じ、多面的な視点から重要課題を明らかにする。また、モノグラフシリーズでは、機構内外の研究者が、重要な課題について多角的・多面的な独自の調査・分析を行い、問題を提示する。

以上